

会 議 録

【会議名】

第1回 第10期瑞浪市高齢者福祉計画等推進委員会 会議録

【場所】

瑞浪市保健センター 3階大会議室

【日時】

令和8年6月29日(月) 協議時間 13:30～14:50

【出席者】

・瑞浪市高齢者福祉計画等推進委員会委員(以下、敬称略)

江口 研	矢野 元子	水野 照久	伊藤 重雄
高野 晃伸	深谷 直人	近藤 宏江	土本 かおり
守屋 玲子	古田 裕美	小林 理恵	浅野 妙子

・市長

・健康福祉部長

・事務局(高齢福祉課)

課長 加藤	課長補佐兼介護保険係長 宮地	課長補佐兼高齢者支援係長 加藤
高齢者政策係長 野田	同政策係総括主査 山田	

・コンサルタント

株式会社名豊 営業企画部営業課次長 大川

【欠席者】

加藤 一男 委員

・次第

別紙次第のとおり。

・委嘱状交付

出席委員に対し、委嘱状を交付。

・市長あいさつ

・自己紹介

各委員及び事務局が各自、一人ずつ自己紹介

・出席状況

委員 13 名中、12 名の出席により、会議の成立を確認。

・会長及副会長の選出

執行部一任の意見を受け、事務局より会長に江口委員、副会長に水野委員を推薦し、承認される。

・江口会長あいさつ

・諮問

市長より、会長へ諮問書を手渡す。

・傍聴人の確認

本日0名

【議題】

会 長 それでは、「次第7 議題」、第 10 期瑞浪市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の概要の概要について、事務局より説明をお願いします。

事 務 局 資料1、資料2に基づき説明。

会 長 ただいまの概要の説明につきまして、ご意見やご質問などありますか。

委 員 4ページの下「地域の実情に応じたサービス提供体制の構築」の地域のタイプのところでは、瑞浪市は「人口減少地域」というところをイメージすればよいですか。

事 務 局 全国的に、高齢者人口の減少ピークが訪れるのは 2040 年前後と推定されていますが、「人口減少地域」は、これに先んじてピークを迎えるイメージの地域が当てはまります。瑞浪市はこれにはあらず、「一般市」に含まれると考えています。

人口減少地域の類型に当てはまる場合としましては、中山間地域や離島その他の一部町村等、(生産人口が少なく)顕著に高齢化が進んでいる地域があると思われます。

委 員 市の人口としては減少が進んでいますが、当該考え方では、「一般市」にあたると考えられるということですね。わかりました。

会 長 それでは、「第 10 期瑞浪市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の概要」につきまして、採決を取ります。ただ今の案について、ご承認される方は、挙手をお願いいたします。

委 員 (全員挙手)

会 長 では、全員賛成ということで、この議事は承認されました。

それでは「次第8 報告」に移らせていただきます。

介護に関するアンケート調査結果の報告について、説明をお願いします。

コンサルタント 資料3に基づき説明。

会 長 ありがとうございます。ただいま説明のありました、「アンケート調査結果の報告」について、ご意見やご質問などありますか。説明があったところ以外でも結構です。

委 員 今回のアンケート調査では、国の調査票を使われたという話がありました。

国の調査票のフォーマットをそのまま使ったのか、市独自の調査項目を入れて調査をされたのかをお聞きしたいと思います。

コンサルタント 国が示すフォーマットでは、必ず聞きなさいという必須項目と、オプションで聞いた方がよいとされる項目があり、瑞浪市の地域課題を把握する上で分析に資するかという観点で取捨しています。必須項目については、今後「見える化システム」に取り込むことで他市や圏域ごと等の地域間比較ができますので、全て入っています。そこに、移動支援その他の地域課題等を把握するために有用と思われる設問を独自に追加しております。

なお設問の追加は、必須項目を補完しうる部分について市と協議しながら決定しました。

委 員 資料の4ページの用語説明の中で「在宅指向型」と「外出指向型」があります。

中身を読むと、在宅指向型が自宅の中で楽しむ指向が強い人、外出指向型は外で楽し

む指向が強い人とあります。これが、どのようなチェック項目に基づき振りわけたものか教えてください。

コンサルタント 今回のクロス調査では、(ただ今ご質問のあった)外出指向か在宅指向かという振りわけと、社交的か内向的かという振り分けを行っています。

外出指向型、在宅指向につきましては、18ページにあります問 12、「週に1回以上は外出していますか」という設問に、「週に1回以上」の回答された方を外出指向型と、「週に1回未満」の回答した方を在宅志向型と定義しています。

その理由としましては、高齢者の「閉じこもり傾向」について、国が週に1回以上の外出という所で基準を決めていますので、これに準拠したものです。

ただ、(外出の多い少ないだけで)良い・悪いとは一概に言えない部分がありますので、否定的なニュアンスの無い表現に修正するという配慮を行っています。

また、社交的か内向的かは、74ページの問 44 に基づいて振り分けています。

地域住民の方の健康づくり活動や趣味などのグループの活動に、「すでに参加している」又は「参加したい」と回答した方は社交的、「参加したくない」と回答した方は内向的と定義しています。こちらも(いずれの類型が)良い・悪いというお話ではありません。

ただし、閉じこもり傾向が強く、かつ、1人を好まれる方は、現にリスクが高まるということが判明していることから、抽出や効果的な分析を行うためクロス調査を行いました。

委員 江口会長もご挨拶でおっしゃられましたが、介護に携わる人材は、今もとにかく不足している状況かと思います。これが、今後ますます介護が必要な方は増えるけれど、携われる人材は確保できなくなってくるかもしれないという課題があって、そうしたことから、外国籍の方の就労状況等に関する(事業所への)アンケートをされたのかなとも思います。

近頃、大変お元気な 70 代前半くらいの高齢者の方を取材したテレビ番組を拝見しました。内容は、一旦ご自身の親御さんを介護するためご退職された方が、その後再就職して現役で頑張っているというものです。

その方が再就職を考え始めた当初、IT化の波に乗り遅れている身なので事務職は無理だなあと断念していたところ、知人の勧めがあって、介護の業界に入ったそうです。以後、かなりの年数、お仕事を続けていらっしゃいますが、とても充実しているという様子でした。

こうした方は、(介護サービスの利用者)年齢も近いですし、大変健康です。

私自身、医療に携わっていて、90 代でもお元気に日常を過ごされる方を存じています。ですから、お仕事をリタイアされた後のお元気な高齢者の方に、介護職に携わっていただけるような機会が増えればいいなと思います。

そこで質問なのですが、国や市の統計等で、介護職に携わられている方の年齢分布等が分かる統計資料のようなものは、ありますでしょうか。

事務局 ご意見ありがとうございます。介護職について、年代別の分布という資料や分析は見たことはないのですが、一度調べてみます。

委員 私も医療面で携わる中で、80 歳近くでも自立してお元気な方は多いなと思います。そういう方と関わる機会があり、かつご本人が希望される場合には、介護の世界でご活躍いただけるようにするのも方法の一つかと思います。

また、医療機関として日々様々な方と携わる中での感覚ですが、ご主人が倒れられて奥

様が介護されるという場合に、自宅(介護)を優先されることが多ように感じます。このような場合、結果的に老々介護となってしまう、何年かで限界がきて、(現状や今後のことなど)ご相談を受けることがあります。そうした場合には、施設入所や訪問介護サービス等の利用につなげられるよう、(包括やケアマネさん等)にご相談することを提案します。一方、本アンケートでも如実に出ていたのですが、介護が必要となった場合に、女性は逆に施設入所をご希望されることが多いように思います。その辺も、今後の分析において一ポイントだと思います。大変興味深く見させていただきました。

会長 その他、ご質問等ありませんか。

委員 今日の説明では省略されていた部分ですが、(本会議の前に)アンケート結果報告書を家で見てきましたので、お尋ねします。

94 ページの問 53 に「家族や友人、知人以外に何かあったときに相談する相手は誰ですか。」という設問がありますね。その中で、「医師・歯科医師・看護師に相談する」という割合が結構多いと思います。このくくりの中に「薬剤師」も入っていると考えてよいですか。こちらは国が設定するとおりの設問(選択項目)で、調査票も同様の表記となっています。受け手としては選択肢に列記されたとおりのご職業の方を想定して回答されていることと思います。実際に薬剤師さんは重要な相談先だと思います。大変失礼しました。

委員 実際に店頭に出ていると、高齢者の方から様々な形の問い合わせを受けることがあり、薬剤師会としても、それぞれの各店舗・薬局で(寄り添えるよう)努力をしているところです。国が想定した設問(選択項目)で、相談先に薬剤師が想定されていなかったことについては、少し、寂しい思いがあります。

委員 歯科医師会代表の立場として、発言よろしいでしょうか。

105 ページの問63で、「現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。」という設問に病名、疾病が列記されていますが、この中に歯(口腔機能)に関するものが無いのはおかしいのではないかと思います。

こちらも、国が想定した通りの設問とは思いますが、口腔機能の低下によって食事がままなくなったり歯が抜けてしまったことで見た目を気にして外出を控えるようになったり等、高齢者の活動に影響が生じます。ですから、今後、このような調査を行う時には、歯の疾病も入れると良いかと思います。

機能的に飲み込めないとか、歯の手入れに関する事等の設問はあるように見られますので、直接、歯科疾病についても調査をされると良いかと思います。

委員 私の母親は今年 80 歳になります。スマホを使っておりまして、何かわからないことがあると、すぐにAIに聞きます。周りの人からも、AIに聞けば何でも答えてくれる、やさしく教えてくれるということをよく聞きます。他方、以前の職場では、高齢で携帯電話の扱い方さえわからないという方にも、何度も会いました。両極端です。

既に終了しているアンケート調査に言うことではないかもしれませんが、今回のアンケート結果を振り返って、実際高齢者が在宅生活を望むというところで考えてみると、今後ICT(を活用する能力があるかどうか)は、大変重要になってくると思います。

私の母のように携帯やスマホを難なく使える人、逆に使えない人、色々いらっしゃると思うのですが、そういった人の割合をアンケート調査で調べた上で、ICTが活用できるかどうかという検討が必要ではないかと思います。

委員 2028 年(次回調査)の課題ですよ。その時には、「相談相手として一番多い」のがAI になっているかもしれませんね。

会長 その他、いかがでしょうか。

委員 94 ページ、問 53 の「地区別」の説明の最後のところ、「割合が低くなっています」とあります。実際の割合は、この下の表で見ると、一番高い数字が表れているように見えます。「低くなっている」という表記は、どのように解釈すればよいですか。

コンサルタント 申し訳ありません。誤植です。

「低くなっている」の部分について、正しくは表のとおり、「高くなっている」となります。

会長 その他、いかがでしょうか。もしお気づきの点があれば、事務局にご意見していただければと思います。無いようですね。それでは次第8を終了し、「次第9 報告」へ移ります。事務局より、報告事項等がありますか。

事務局 本日は、ございません。

会長 わかりました。

それでは改めまして、本日の次第のうち承認事項であった「第10期の計画の概要について」は、先ほどの採決のとおり、承認とします。

また、本日は、アンケート調査結果についても報告いただきました。今日も含め、4回にわたって第10期の計画について検討していくわけですが、(今後出来上がってくる計画案は)このアンケートがたたき台となります。10月には骨子案、11月には全体のドラフト版ができて、それについて皆さんと慎重に審議していく中で、様々なご意見、立案等いただきたいと思っています。今後も慎重なご審議をお願いいたします。

【閉会】

・健康福祉部長あいさつ